

〈かご一杯のパン〉

マルコ 8 : 1 ~ 10



5つのパンと2匹の魚が、5千に以上の人達のお腹を満たしたのと、同じ奇跡が起こった。状況は同じ。

違ったのは…

場所 / 人数 / パンの出所 / パンと魚の数 / 残ったパンの量

場所 : デカポリス地方

異邦人の町。ゲラサ人の男(墓場に住む)のが癒され I message で証し

人数 : 4000人(男性だけで)

パンの出所 : 弟子達が多持っていた?!

パンと魚の数 : 7つのパンとわずかな魚

残ったパンの量 : 7つのかごに一杯

人もすっぽり入るような大きな荷物をいれる籠(σπυρίς・スプリス)

パンかごのような小さなかごではない(κόφινος・カピヌース)

「七のパン」を差し出しすと、「七つのかご」一杯のパンになって戻ってきた。

かわいそうに、この群集はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。

【2節】

「かわいそうに」は「あわれむ」と同じことば。

Compassion・・・「共に苦しむ」の意味

人々の中で御業を成されるイエス様の根底に流れているのは、
「共に苦しむ」ような、あわれみ。愛。

弟子達は「7つパンがあります」とすぐに答えられたが、すんなりとそのパンを
差し出せたのだろうか？

- ・異邦人に対する差別意識が邪魔をしなかっただろうか。
- ・何故イエス様は、自分達と同等に彼らを扱うのかと疑問視しなかったか。

イエス様と同じように、「共に苦しむ」思いにはなれない。

しかし、イエス様が十字架に架かれた後には、弟子たちも変えられた。

聖霊に満たされ、自分の殻がはじけ飛んで、内側から神の思いが溢れ出てきた。